

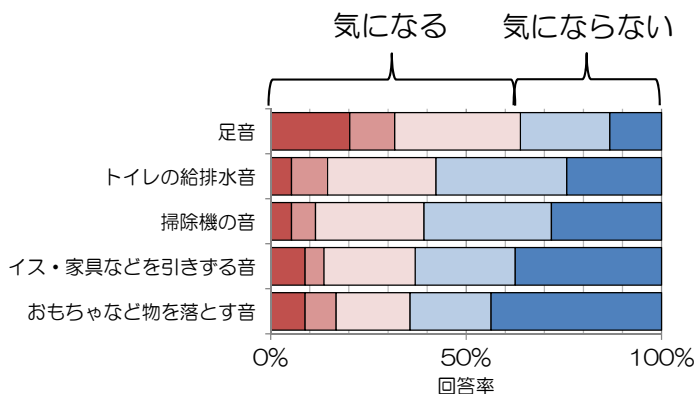
日常生活音に対する効果が高いローコストな木造床遮音工法を開発しました

背景

- 木造共同住宅において、ローコストな高性能遮音工法は普及していない。
- 実際に人の生活で発生する音を考慮した、床の遮音性能の評価が行われていない。

成果

1 遮音性能に関する実態調査



民間賃貸住宅入居者にアンケートを実施 (回答者: 515人)

○木造共同住宅の入居者は、足音や椅子を引きずる音など、比較的軽い音が気になっていることがわかった。

2 主観評価※による遮音性能の検証

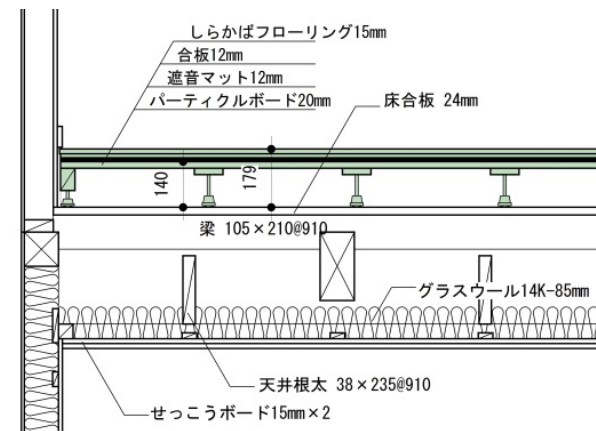


遮音二重床の施工状況

- 目標とする遮音性能を鉄筋コンクリート造床(150mm厚)と同等に設定した。
- 主観評価※により「遮音二重床」が「鉄筋コンクリート造床(150mm厚)」と同等以上の遮音性能を有することを確認した。
- また、日常生活音に対してうるさく感じないことを確認した。

※主観評価：実際に発生した音を人が聞き、うるさを比較評価するもの。

3 工法の提案



今回提案した遮音工法

- 遮音二重床を用いた工法を提案。
- 従来の木造床工法で同等の遮音性能を持たせる場合に比べ、50%以上ローコストであることを確認。

期待される効果

- 事業者や自治体に対して本工法の情報や技術を提供し、木造公営住宅や民間賃貸共同住宅の遮音性能向上に貢献します。